

Q 学校経営で大事にしてきたことは何ですか。

A 「教育は人なり」と言われるように、誇りと責任感をもち、よりよい教育を創造、推進する教職員集団を育てるための体制づくりを大切に進めてきました。

最初の一步を大切に

- ・校長としての所信表明

事前に着任校の学校環境、経営状況、これまでの取組の成果や課題等を把握した上で、自己の教育信念に基づく学校経営の方向性を提示し、校長としての教育姿勢に理解を得ることが大切。

学校経営組織を工夫し、教職員の経営参加を促す

- ・校長は、組織体である学校の経営責任者

教育目標の達成につながる学校運営組織を工夫する。校長の責任の下、全教職員が学校経営の一部を受け持つという自覚を持ち、各々の立場・組織で積極的な努力・協力を呼びかける。

教育課程の管理、人事管理、施設管理は日常的・全員体制で

- ・目標達成を目指す教育課程

的確な実態把握と分析、綿密な教育計画の立案・実行、系統的・体系的な全員指導体制の確立、PDCAを生かし目標の達成を目指す。

- ・人を育てる人事

教員の実践を日常的に評価し、教師としての誇りと責任感と意欲を引き出す。報告、連絡、相談に加えて日常の対話を多くして意見をよく聞くことも大切。適材適所を基本とするが、人を育てるためには経験を広げる配置も必要。

- ・関係者全員で日常的な施設管理

児童生徒、教職員、地域・保護者等に、日常的に安心・安全意識を高め、校内外の危険情報の提供を働きかけ、早期発見・対応に努める。

「教育は人なり」子どもを取り巻くすべての人が高まることが大切。そのためには、校長がまず自分を高める研鑽が大切です。

校種

小学校・中学校